

名勝涉成園での 生物多様性保全に向けた取組

後藤 香奈

植彌加藤造園株式会社 自然文化サービス部

目次

1. 植彌加藤造園株式会社について
2. 自然文化サービス部について
3. 名勝渉成園での取組
4. 今後 期待すること

1. 植彌加藤造園について



植彌加藤造園株式会社
Ueyakato Landscape

嘉永元年（1848）創業

京の庭はぐくみ続けて174年

基本理念：伝統から学ぶ 仲間から学ぶ

行動指針：お客様を大切に真心の奉仕をしよう

さわやかな笑顔 確かな技術

経営使命：新しい伝統を創造する

不易と流行 伝統と革新

南禅寺 六道庭 (1967)



伝
統

－ 不 易 －

永遠に変わらない伝統や芸術の精神

「変えてはならないもの」

- 自然への敬意を底流
- 技術第一

星のや東京 (2017)



革
新

－ 流 行 －

新しさを求めて時代とともに変化するもの

「変えなければならないもの」

- 時流適応した創意工夫
- 造園サービス業



2. 自然文化サービス部について

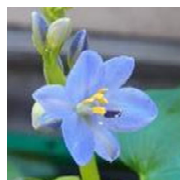
〔事業目的〕

庭職人から自然に寄り添う技と心を学びながら、
京都固有の自然や文化の魅力を発掘し、伝えていく。

①管理庭園・森林の 品質向上・魅力増加

- ・ 利活用（庭園ガイド）
- ・ 希少種保全活動

希少種の保全



②CSR活動を通じて 地域・社会貢献

- ・ 行政との連携
京都府府民環境部自然環境保全
課主体のコケプラットフォーム
- ・ 地域、自然環境連携

東本願寺と環境を
考える
市民プロジェクト



③京都の 自然文化の伝承

- ・ 生物調査、研究
- ・ 情報発信

京都市主催
京都市生物多様性
フォーラムin洛西



3. 名勝渉成園での取組

- 3-1 ー 名勝渉成園について
- 3-2 ー 名勝庭園での生物多様性保全の意義について
- 3-3 ー 名勝渉成園での生物調査
- 3-4 ー 希少種ミズアオイの確認と生息域外保全
- 3-5 ー 職人の声と、生きもの紹介の場/活動

3-1. 名勝渉成園について

渉成園とは

とびちけいだいち
東本願寺の飛地境内地の庭園。1641(寛永18)年に三代将軍・徳川家光から当地(約1万坪)が寄進され、石川丈山の趣向を入れた作庭がなされました。庭園には四季折々の花が咲きほこり、変化に富んだ景観は「十三景」と称されています。1936(昭和11)年には、文人趣味にあふれる仏寺庭園として、**国の名勝**に指定されています。



『真宗大谷派東本願寺 公式HP』



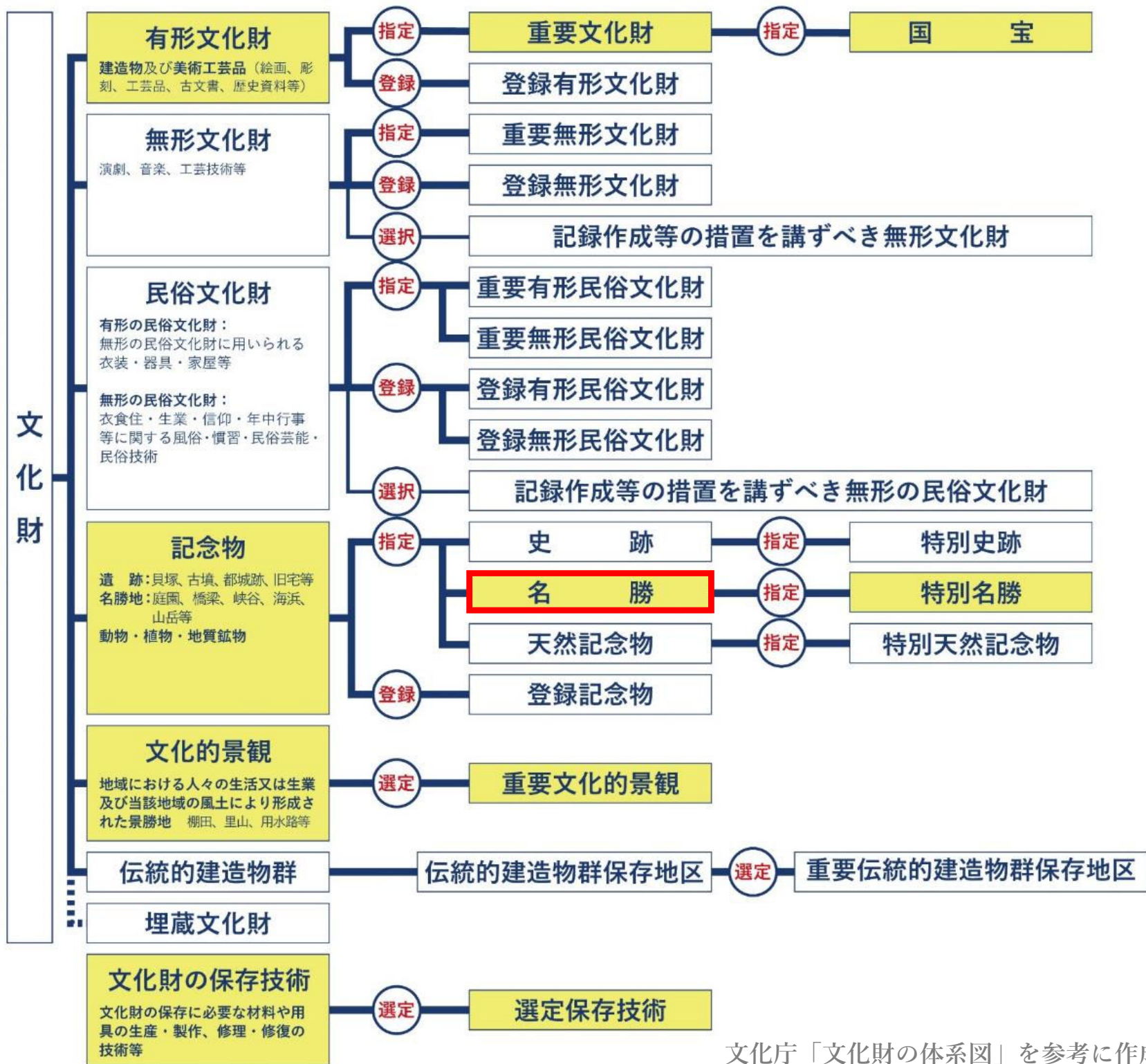
本尊	あみだによらい 阿弥陀如来
しょうえ きょうてん 正依の經典	ぶっせつむりょうじゅきょう だいきょう 仏説無量寿經(大經) ぶっせつかんむりょうじゅきょう かんぎょう 仏説観無量寿經(観經) ぶっせつあみだきょう しょうきょう 仏説阿弥陀經(小經)
宗祖	親鸞聖人
宗祖の主著	けんじょうとしんじつきょうぎょうしょうもんるいきょうぎょうしんしょう 顕浄土真実教行証文類(教行信証)
宗派名	真宗大谷派
本山	しんしゅうほんびょう 真宗本廟(東本願寺) 京都市下京区烏丸通七条上る



『真宗大谷派
東本願寺公式HP』

弊社は東本願寺様の御用達として
境内および渉成園の育成管理を日々行っています。



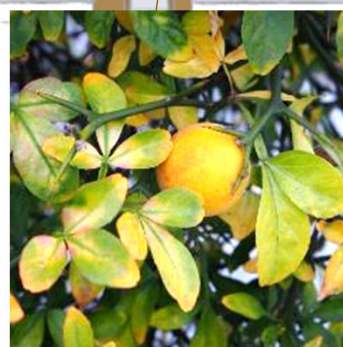
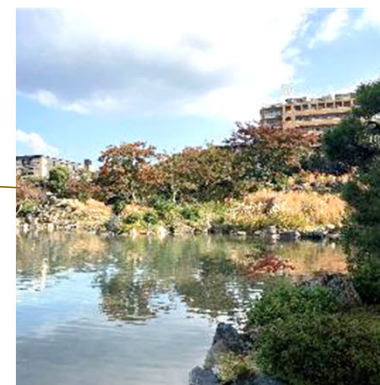
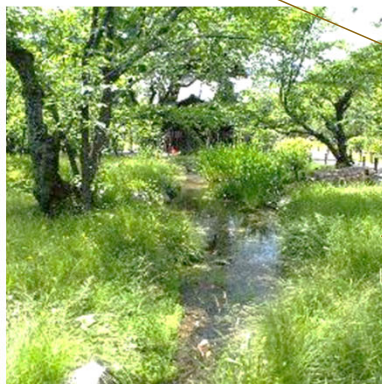
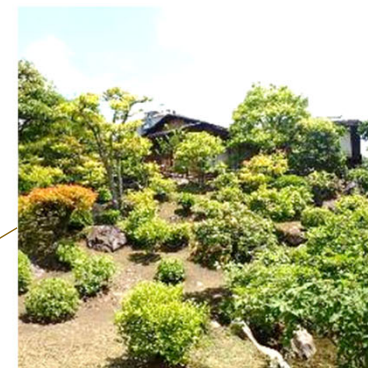
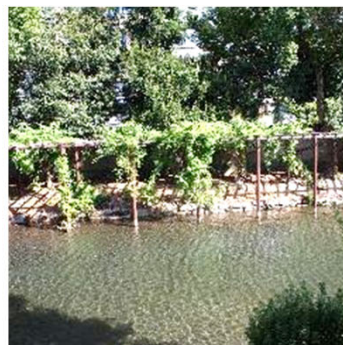
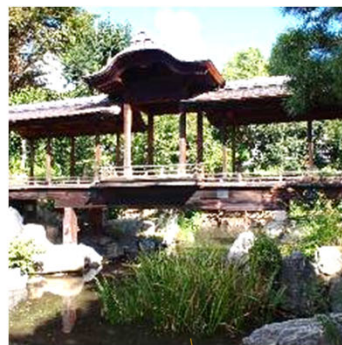
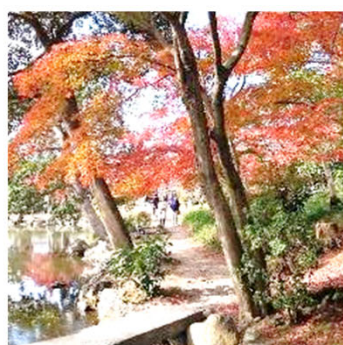


名勝とは

我が国のすぐれた国土美として欠くことのできないものであって、その自然的なものにおいては、風致景観の優秀なもの、名所的あるいは学術的価値の高いもの、また人文的なものにおいては、芸術的あるいは学術的価値の高いもの

史跡名勝天然記念物 渉成園 解説文（1936.12.16(昭和11.12.16)指定）

左大臣源融ノ河原院遺跡ニ寛永年中宣如上人ガ石川丈山ニ囑シテ築造セシ
メシ所ナリト傳ヘ世ニ枳殻邸トシテ聞ユ現況ヲ觀ルニ回遊式庭園ニシテ印
月池ノ水面其ノ大部分ヲ占メ中島或ハ池畔ニ縮遠亭漱沈居、傍花閣等茶湯
関係ノ建築ヲ配置シタル外池ノ北岸ヨリ中島ニ架シタル回棹廊ノ如キ何レ
モ江戸時代初期庭園ノ特色顯著ナルモノト云フヲ得ベシ



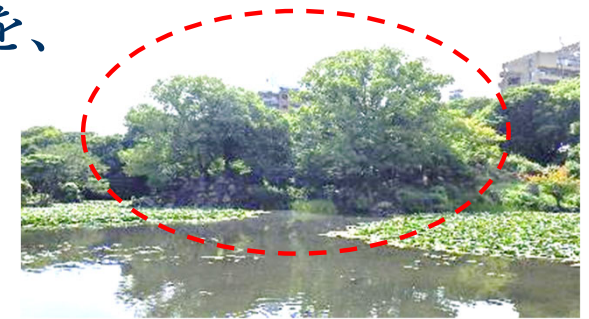
『名勝渉成園（枳殻邸）
「四季のうつろい」
よりMAP』

約一万六百坪

3-2. 名勝庭園での生物多様性保全の意義について

現在、名勝渉成園で

これからどのような方針で保存・管理・育成していくべきかを、
いくつもの視点から研究・検討中



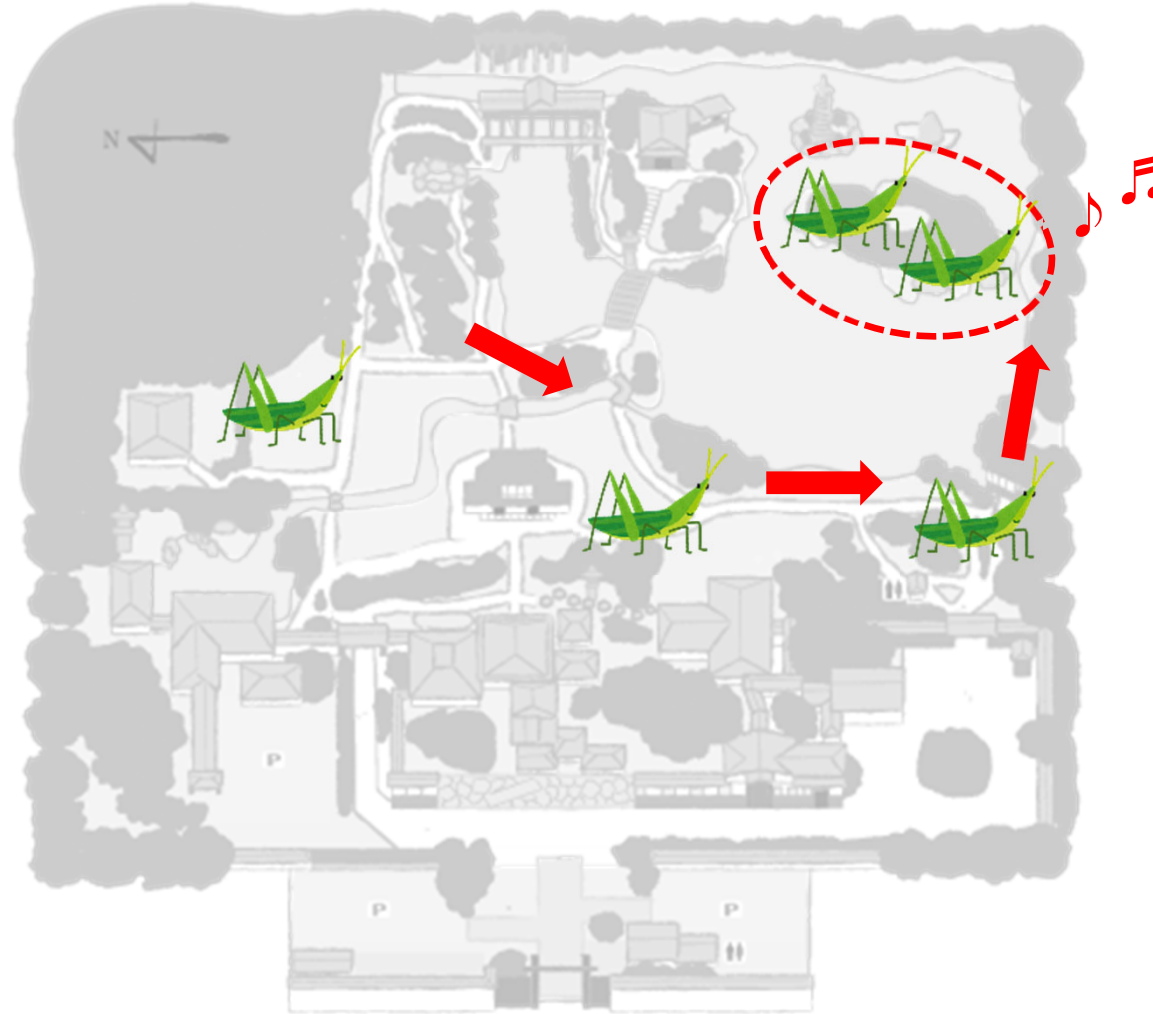
2016年



台風被害

生物多様性の面でも、よりよいお庭にすべく職人によるチャレンジを行い、所有者である東本願寺様への提案をさせていただいています。

チャレンジ中：草を刈る順番（外側から南大島へ向かって）



日々変わる自然を対象に、毎日探りながら考え、
育成管理をしていくには、様々な視点での調査・研究・理解が重要

7.庭園

〈1〉 史跡などの特徴

ア. 概要

古代以来、日本において築造されてきた歴史的庭園は、宴游・儀式・鑑賞等を目的として築造されたものである。その形態的・文化的な起源については必ずしも明らかにされていないが、奈良時代以降については庭園地割のほぼ全域を含むさまざまな庭園遺構が確認されており、とりわけ中世以降のものについては、後代に小規模な改修を受けつつも、継続的に維持管理が行われてきた結果として、ほぼ往時の姿を今日に伝えているものもある。

このような歴史的庭園は、時代を追って多種多様に变化・発展してきたものであるが、形態の上から大まかに分類すると池庭、平庭、枯山水、露地等があり、平地、山腹、海浜等の各種の立地環境において、単一の形態で庭園を成したり、複数の形態が組み合わされることにより全体の庭園を構成したりする。また、日本における歴史的庭園は、古代から近世まで数々の寺院に築造されてきたほか、古代においては宮殿・都城等、中世においては別荘・城館等、近世においては城郭・大名屋敷・御所・住宅等、近代においては主に有産階級の住宅に優秀なものが認められ、古代以降の全時代を通じた多種多様な空間に見られる。

〈2〉 調査項目

エ. 生物に関する調査

樹木をはじめとする生物は、庭園の本質的価値を構成する主要な要素として極めて重要である。とりわけ樹木については、主な景物（主景木）として位置づけられている場合があり、庭園の景観の要となる樹木については、樹形や樹勢等について詳しく把握しておく必要がある。また、園内の樹木については、毎木調査（各樹木の樹種、胸高直径、生育状況の台帳を作成し、場合により庭園実測図を基に樹幹投影図を作成する等）を行い、その他の草本類及び蘚苔類についても植生調査を実施する必要がある。また、鳥類・魚類をはじめとする動物も、庭園における重要な景観要素となる場合があるので、これらの生息状況について調査を行うことが重要である。

3-3. 名勝渉成園での生物調査

環境変化に敏感な「移動性昆虫」に焦点を当て、
どんな昆虫がいるかを調査することで環境の判断を行う。
東本願寺様の許可を得て、2020年より調査開始。

001. 全体の昆虫相

テントウムシ、アリ、チョウ、
トンボ、バッタ、アメンボ…



002. チョウ類

ヤマトシジミ、ナミアゲハ
クロアゲハ、テングチョウ…



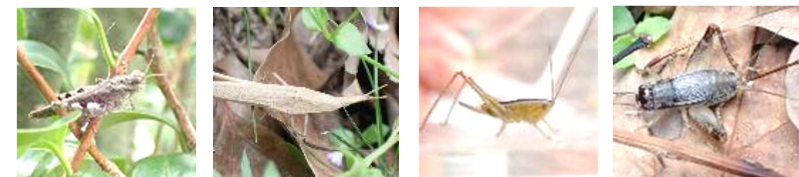
003. トンボ類

シオカラトンボ、ナツアカネ、
アオモンイトトンボ…



004. 直翅類

ホシササキリ、マダラスズ、
ハラオカメコオロギ…



調査方法

- 弊社の専門調査員により園内を目視で確認
- バイオームアプリ（AIを使用した生物同定アプリ）による確認

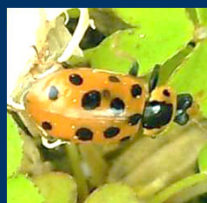
得られる結果

- 園内全体の昆虫相の把握

調査で発見した特徴的な生きもの

ジュウサンホシテントウ

湿地帯に生息する昆虫
南大島のヒメガマ植栽部が
湿地に似た
環境だった
ため生息に
適していた



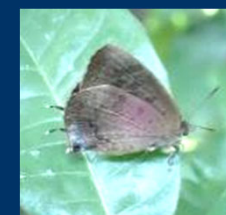
キイトトンボ

水草のよく茂った水辺に産
卵する昆虫
スイレンが繁茂
していた印月池
が生息に適して
いた



ムラサキツバメ

照葉樹林帯に生息する昆虫
椿谷の辺りは
直径1mを超え
る常緑樹が多数
存在し、生育に
適していた



庭園内に様々な環境がパッチ状に存在している
→ 多様な生きものたちの避難場所になっている可能性がある

渉成園での生物調査＞002.チョウ類＞チョウがいる渉成園はどんな環境か？



*特定の環境条件を必要とする生き物

〈例〉 2022.9.15のみの調査データ

キタキチョウ、キタキチョウ、キマダラセセリ、ヤマトシジミ
アオスジアゲハ、クロアゲハ… 等

EIの合計値 = 13



0-9	: 都市的な環境
10-39	: 住宅地、公園緑地
40-99	: 農村、人里
100-149	: 良好な林、草原
150-	: 極めて良好な林、草原

渉成園での生物調査＞003.トンボ類＞印月池工事の前後での環境の変化は？



*特定の環境条件を必要とする生き物

〈例〉 2022.8.31のみの調査データ

オオアオイトトンボ、マユタテアカネ、アオモンイトトンボ、
ギンヤンマ、ウスバキトンボ、シオカラトンボ… 等

工事前・工事後のデータと比較検討を行う。



渉成園での生物調査＞004.直翅類＞どのエリアに何の虫がいるのか？

直翅類（バッタ/コオロギ）を
【指標種*】に設定

- ・様々な環境に生息
- ・園内に多様な草地が存在

*特定の環境条件を必要とする生き物

現地調査

- ・種数
- ・個体数

6エリア毎の
種の割合

- ・数値化

*種毎に好む環境が異なる

〈例〉 2021.8.11のみの調査データ

クビキリギス、ヤブキリ、ショウリョウバッタ、シバスズ
ツユムシ、オンブバッタ、ホシササキリ… 等



11種163個体

渉成園でのチョウ類の生活 孵化～羽化～交尾～産卵



渉成園でのトンボ達の生活 幼虫～羽化～交尾～産卵

イトトンボの幼虫



イトトンボの抜け殻



ウスバキトンボの抜け殻



アキアカネ



アオモンイトトンボ



ギンヤンマ



渉成園で越冬昆虫を確認

メリケンカルカヤやススキの根元・樹皮の間・葉溜まり



クビキリギス



ヒメカメノコテントウ



ムラサキシジミ



ヨコヅナサシガメ



庭園の樹木・建物等に影響を与える生きものは、
見つけ次第社内での共有を進めている。

外来ハゴロモ



ヒロヘリアオイラガ



モモヒメヨコバイ



タケクマバチ



メリケントキンソウ



オオカワデシャ
(特定外来生物)



3-4. 希少種ミズアオイの確認と生息域外保全



ミズアオイ（水葵）

ミズアオイ科ミズアオイ属

Monochoria korsakowii

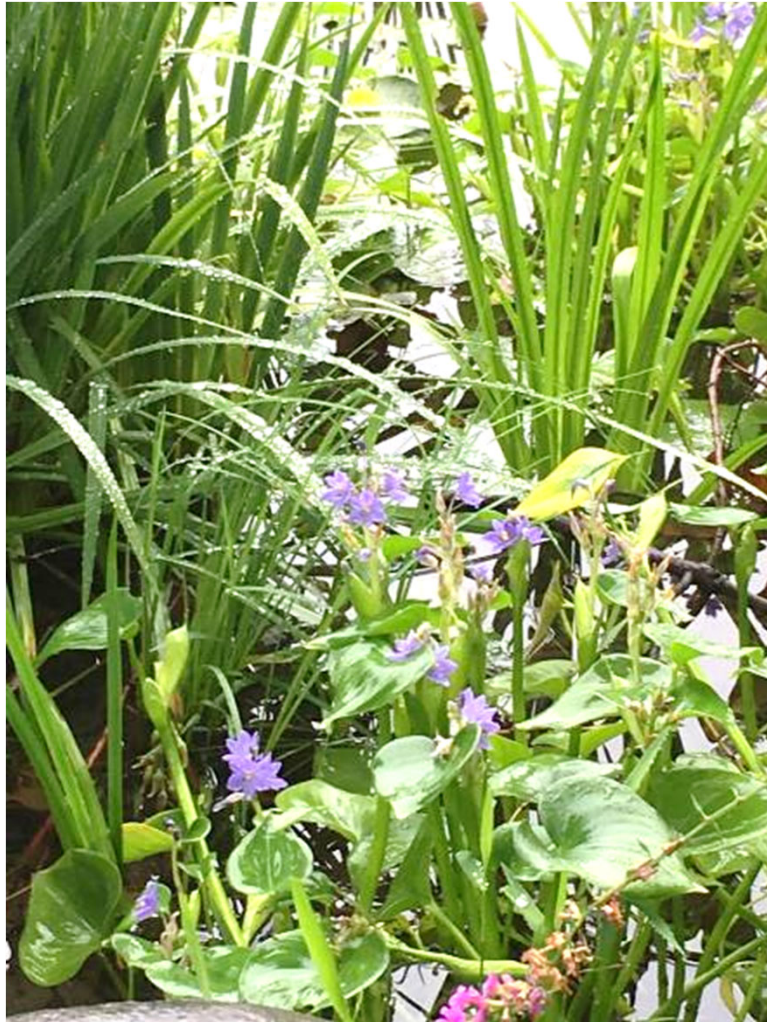
■京都府レッドデータブック2015

絶滅寸前種

■水田や湿地に生える一年草の抽水植物

■万葉時代から主要な野菜として親しまれた。

■近年河川・池などの開発、農薬の散布等で姿を消し、希少種として扱われている。



2018年、植彌加藤造園の職人が巡視点検中、印月池の畔で見慣れない青い花を発見。

京都大学 瀬戸口浩彰教授に調査を依頼したところ、ミズアオイであると同定されました。



2005年に写真上でミズアオイを確認していますが、それ以降確認できず、実に13年ぶりの開花確認となりました。

13年ぶりに発芽・開花確認できた理由

■ミズアオイ = 攪乱依存種

水田耕作などによる攪乱（人の手が加わること）で生き延びてきた植物。

【発芽条件】

1. 光
2. 嫌気状態（酸素を嫌い、低酸素条件にならない限り発芽しない）
3. 水分

■発芽するためには、適度な攪乱（土のかまわし）や水温の上昇など、いくつかの条件が必要で、田んぼでは代かきなどで低酸素条件になった時、一斉に発芽する。

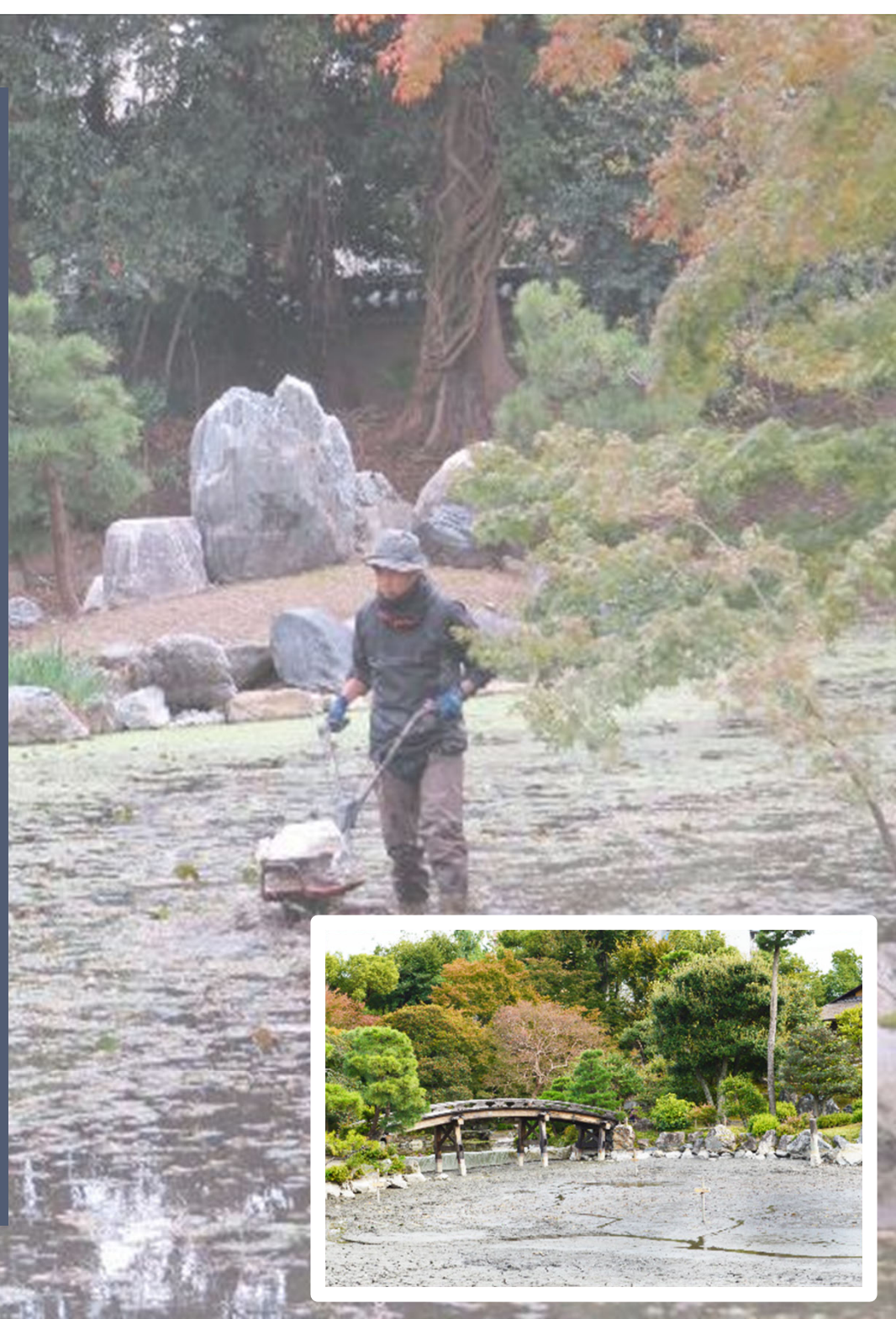
■種子の出芽可能深度は土壌表面から数cmまでで、それよりも深い層に位置する種子は休眠に入る。

名勝庭園保存修理事業

「名勝」とはすぐれた国土美の有様を様々なかたちで表現し、風致景観の緩衝を通じてその価値を発揮する記念物で、文化財保護法により指定されています。

2014年度より渉成園内の建築物・庭園の本格的な保存修理事業を開始し、10年間の計画で整備を進めております。

今回、ミズアオイの発芽はこの保存修理事業の一環で、
印月池の水を抜き、耕転したことで
攪乱が起きたことに起因すると
推測しています。



植彌加藤造園(株)の屋上で生息域外保全 2018～2022年

発芽

種を植えて2週間後程度



水中葉

水中で葉が育つ



気中葉

強い茎ができる



気中葉

葉の一部が水上に出る



成長期

ハート型の葉になる



結実

花茎ごと水面に倒れる



袋掛け



春化处理

人為的に冬の低温を経験させること



渉成園での展示

2019～2022年



渉成園のミズアオイ

真宗大谷派（東本願寺）の了承の上
植彌加藤造園で育成・計画

“京都府立植物園”で育成

“京都大学”で植物標本 作成・保管

“（公財）京都市都市緑化協会”で育成

“環境省新宿御苑管理事務所”で種子保存

保存ID：2250 （公社）日本植物園協会の種子保存拠点園



2021年9月撮影



2022年9月撮影

種子は2018～2022年生息域外保全分を弊社内でシードバンクとして保管
 今後は再度自生地で、育てていきたい

3-5. 職人の声と、生きものの紹介の場/活動

渉成園の管理に携わっている職人（代表）



太田 陽介

御用達として東本願寺・渉成園の担当を務める。渉成園内に息づく生物多様性を守るため、創意工夫を凝らしながら育成管理に励む傍らで、京都の景色に欠かせない東山の林相改善事業の整備や研究にも勤しむ。いきもの全般に愛着を持ち、生物の視点から庭を見ることに重きを置いて渉成園に携わる。自然界にあるものは「とりあえず何でも食べてみる」主義。



鷺田 悟志

御用達として東本願寺・渉成園の担当を務める。理性を超えた芸術作品としての日本庭園の魅力に惹かれ、庭づくりに携わる職人。学びを深めた現代美術をバックボーンに、日本庭園と芸術・文人文化をより密につなげていくことを目標として日々の手入に勤しんでいる。渉成園では、「五感を楽しむ庭ガイド」や「煎茶講座」の企画も担当している。

渉成園 - 枳殻邸 - 庭だより VOL.5

秋号

2019/10/1 発行

生物多様性

—食物連鎖を活かしたお庭の手入れ—

自然界ではいろんな種類の生き物がおり、食べたり食べられたりしながら命が回っています。例えば毛に毒を持っている「チャドクガ」は人間にとっての害虫ですが、寄生バチ（チャドクガの幼虫に卵を産み付けるハチ）や鳥（餌として食べる）はチャドクガがいることで生きる確率を上げています。

ここ渉成園ではチャドクガの餌が少なくなるよう、また寄生バチや鳥がチャドクガを見つけやすいように庭師が「剪定」をしっかり行い枝を少なくすることで、害虫の数を減らすよう意識して管理をしています。

繊細なバランスで出来ている生態系、大事にしていきたいですね。



剪定の様子



編集・発行

植彌加藤造園株式会社
自然文化サービス
UEYAKATO LANDSCAPE

職人 歳時記

年末、渉成園も冬支度です。

落葉樹の葉が落ちた頃

合を見計らい、全域の落

ち葉掃除を行います。竹製

品も青竹に交換し、新年を

迎える準備をします。紅葉

を楽しむためにあえて残しておいた護岸のハゼノキや、

可愛らしい実をつけていたムラサキシキブ（コムラサ

キ）も根元から切り戻します。冬の設えを整えた渉成

園は、南大島のダイナミックな石組もくっきり見え

ます。尾根筋の輪郭線もはっきりと現れるので、お庭の

構成要素がよく分かる季節です。凜とした空気の中、

庭園散策をお楽しみください。

At the end of the year, Shosei-en **readies for winter**. Carefully waiting until the leaves finish falling from the deciduous trees, we clean up fallen leaves from all over the garden. **Replacing the garden's bamboo-made items with young green ones**, we prepare to greet the new year. Now we cut down to the base the wax tree by the shoreline's stone edging that we deliberately left for people to enjoy its autumn leaves, as well as the Japanese beautyberry that had adorable fruits growing on it. Once Shosei-en is ready for winter, you can distinctly see the dynamic stone arrangement on the Minami-Oshima (large south island). The outline of the island's ridges also comes clearly into view, making this a **season when each of the garden's components becomes visible**. Enjoy walking through the garden amid this majestic atmosphere.

The Wander of Living Things

いきものの不思議

古くから日本の野山に自生し、万葉集の歌にも度々登場するアセビ。

有毒成分を含み、「食べた馬が酔ったようにふらつく」ということから馬酔木と書き、京都でも鹿の多く出没するエリアではアセビだけが食べ残され、群生地が見られます。

ところが反対にアセビを好んで食べる種類の蛾もいます。天敵から身を守るために毒の成分を体内に蓄えるのです。

園内では、アセビは園林堂周辺や北大島に見られます。2~3月頃から毒を含むとは思えない、釣鐘型の小さい可憐な花がスズナリに咲いて春を知らせてくれます。

Japanese andromeda is a flower that has been native to Japan's mountains since ancient times and appears several times in the Manyōshū, Japan's oldest poetry anthology. **It contains toxic elements** and its Japanese name asebi is written in characters meaning "horse drunk tree," because it makes "the horse who eats it stumble around drunk." In Kyoto, clusters of Japanese pieris are often the only thing left uneaten in areas frequented by deer. **On the other hand, there are some moths that like to eat Japanese andromeda.** They protect themselves from natural predators by storing up toxins in their bodies. At Shosei-en, **Japanese andromeda can be found around the Orrin-do Hall and on the Kita-Oshima (large north island).** From February to March, these plants let us know spring's coming by blooming with tiny bell-shaped flowers so adorable you can hardly believe they're poisonous.

植

編集 / 発行

株式会社 渉成園
SHOSEI-EN LANDSCAPE CO., LTD.
自然文化センター 渉成園
ENGLISH GARDEN, CULTURE PLANNING DESIGN



園内みどころ MAP

Garden Highlight MAP

※年によって開花時期は異なります。
*Flowering periods vary from year to year

冬の静かな時を迎えた園内各所にて、ささやかに咲く花々をお楽しみいただけます。
雪にちなんだ灯籠や橋もあるので、探してみてください。

Enjoy the softly blooming flowers as each of the garden's areas welcomes the quiet time of winter.
Try looking for the garden's lantern and bridge that were named after snow.

開花時期
Flowering periodアセビ
Japanese andromeda
2月~3月ツバキ
Camellia
1月~4月サザンカ
Camellia sasanqua
11月~1月ウメ
Ume
1月~3月渉成園で
見られる鳥
Birds you can see
at Shosei-enジョウビタキ
Daurian redstart侵雪橋
Shimetsu-kyo Bridge
(Snow-covered Bridge)

その名の通り、雪景色がよく似合います。
As its name suggests, snowy scenery suits this bridge.

落葉樹の冬の姿
Deciduous trees in winter

枝ぶりがよく分かります。
Tree branches can be easily seen.

蘆庵の春日灯籠
Kasuga lantern at Roan Tsubouchi

雪が降り積もったデザインが
可愛い。冬に映える灯籠です。
The lantern's design is lovely when covered in snow.
This is a lantern that really shines in winter.

マガモ
Mallardメジロ
Warbling white-eye

37

おひがしさん門前未来プロジェクト



OHIGASHI-SAN MONZEN MIRAI PROJECT

「おひがしさん門前未来プロジェクト」は植彌加藤造園株式会社、株式会社エフエム京都、一般社団法人公共事業研究開発、真宗大谷派（東本願寺）、株式会社ティーエーティー（20PIECES、TUNE STAY）、UDS 株式会社（ホテルカンラ京都）の6法人の協力体制で2021年にスタートしました。2022年からはTHE THOUSAND KYOTO、京都醸造株式会社が新たに参画。おひがしさん（東本願寺）を中心とした門前地域の魅力を再発見し、一体感のある情報発信、イベントなどを通じて人と人、異なる文化や価値観の交わる場としての地域づくりに取り組んでいます。

※本プロジェクトは2021年度 観光庁「既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業」採択事業です。

植彌加藤造園×Biome

「渉成園 お庭のいきものツアー」

生き物の多様性を大事にしたお庭の育成管理をしている渉成園には、さまざまな動植物が暮らしています。いきものコレクションアプリ

「Biome」では、渉成園の生き物を巡る特別クエストを配信します。お庭の生き物の写真を投稿して豪華賞品をゲットしましょう！

イベント体験ブログをアップしました！

開催期間：2021年11月5日（金）～2022年1月31日（月）

主催：植彌加藤造園株式会社



今後、庭園・生物多様性・文化を繋げる利活用も行っていきたいと考えています。

- ・南大島による昆虫達の合唱 「音の風景“サウンドスケープ”」
- ・印月池にて月を楽しむイベント「渉成園十三夜」



4. 今後期待すること

自然環境と人の営み、そしてそれらを取り囲む社会が構成する景色を大切にし、守っていききたい歴史・人工物としての文化的価値と、この地の生物多様性のどちらも尊重し、どのようにバランスを取っていくべきか、日々模索しながら進めております。

中でも長い歴史や、広い敷地と「露地・池・遣り水・芝生」等、多種の環境が存在する名勝渉成園は、地域固有の生きもの達の生息場所や避難場所になり得る可能性を秘めた庭園だと、私は考えております。

庭園での民間企業の生物多様性の取組が認識され、今後多くの繋がりをもって活動が広がっていく機会になればいいと期待しております。

参考文献

真宗大谷派（東本願寺）「東本願寺の基本情報」『真宗大谷派東本願寺ホームページ』2022年12月22日アクセス
<<https://www.higashihonganji.or.jp/>>

文化庁「文化財の体系図」『文化庁ホームページ』2022年12月22日アクセス
<https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/gaiyo/taikeizu_1.html>

文化庁「史跡名勝天然記念物 涉成園」『国指定文化財等データベース』2022年12月22日アクセス
<<https://kunishitei.bunka.go.jp/heritage/detail/401/1690>>

真宗大谷派宗務所（東本願寺）本願部参拝接待所（2010）『名勝涉成園（枳殻邸）「四季のうつろい」』（pp.7-8）

中村文山か（1888頃）『東六條枳殻邸庭前之図』

山脇洋亮（2005）文化庁文化財部記念物課監修『史跡等整備のてびき-保存と活用のために-』（Ⅱ計画編）（pp.221-225）（株同成社）

東本願氏と環境を考える市民プロジェクト（2014）「投稿」『東本願寺と環境を考える市民プロジェクトFacebook』2022年12月22日アクセス<<https://www.facebook.com/project.higashihonganji>>

東本願氏と環境を考える市民プロジェクト（2021）「投稿」『東本願寺と環境を考える市民プロジェクトInstagram』2022年12月22日アクセス<<https://www.instagram.com/projecthigashihonganji/>>

2021おひがしさん門前未来プロジェクト（2021）「プロジェクトの概要」『おひがしさん門前未来プロジェクトホームページ』2022年12月22日アクセス<<https://www.monzen.serd.jp/>>